

聖学院大学 アセスメントポリシー

概要

学生の学修成果などについて、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に照らして、関連する指標に基づき把握・評価を行う。機関（大学）レベル、教育課程（学部学科）レベル、科目レベルの3つのレベルで、正課内での学修及び正課外でのさまざまな経験に関するデータを用いて、学生の入学時、在学時、卒業時・卒業後の3時点において把握・評価を行う。併せて、学生の学修成果などに基づき、本学の特色であるキリスト教人格教育も含めて本学の教育を検証する。

目的

1. 卒業認定・学位授与の方針に定める「学生が身に付けるべき資質・能力」に関する学修成果の把握・評価を行う。
2. 学修成果を把握・評価することで、学生が自らの成長を実感できるようにする。
3. 学修成果を把握・評価することで、科目担当者及び学部学科、大学全体として、自己点検・評価と合わせて、アジェンダ（年度活動計画）の作成・総括を行い、教育の改善・向上に取り組み、教育の質を保証する。
4. 学修成果の把握・評価に関する情報を公開することにより、社会への説明責任を果たす。

3つのレベルと3時点における学修成果などの主な内容、関連データ、見直しなどの方向

評価時点	入学時	在学時	卒業時・卒業後
基本的問い	アドミッション・ポリシーと整合しているか	カリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているか	ディプロマ授与基準を満たす人材になったか
	チェックポイント<データなど>[見直しなどの方向]		
機関(大学)レベル	<p>①学力はどのくらいか<基礎学力テスト、英語プレースメントテスト、日本語能力試験>[授業内容・方法の調整、入試・広報方法]</p> <p>②志望理由が本学の教育と合致しているか<新入生アンケート>[授業内容・方法の調整、入試・広報方法]</p>	<p>①学士力・人間力が身に付いたか<PROG テスト、DP ルーブリック>[授業内容・方法]</p> <p>②語学力が伸びたか<英語ポストテスト、日本語能力判定試験>[授業内容・方法]</p> <p>③学修経験時間はどのくらいか<大学生活に関するアンケート>[授業内容・方法]</p>	<p>①学士力・人間力が身に付いたか<、DP カルルーブリック、卒業時・卒業後・卒業生就職先アンケート>[カリキュラム、授業内容・方法]</p> <p>②聖学院大学に入って良かったか、大学の学びは役に立っているか<卒業時・卒業後アンケート>[カリキュラム、授業内容・方法]</p> <p>③進路を決めて卒業できたか<就職率(進路決定率)>[就職支援]</p>
教育課程(学部・学科)レベル	<p>①学力はどのくらいか<基礎学力テスト、英語プレースメントテスト、日本語能力試験>[授業内容・方法の調整]</p> <p>②志望理由が学科の教育と合致しているか<新入生アンケート>[授業内容・方法の調整]</p>	<p>①学士力が身に付いたか<DP ルーブリック、PROG テスト>[授業内容・方法]</p> <p>②学修計画に沿って学修が進んでいるか、卒業・資格取得に必要な単位は修得できているか<成績、履修単位>[学修指導]</p> <p>③学修時間はどのくらいか<大学生活に関するアンケート>[授業内容・方法]</p>	<p>①学士力が身に付いたか<DP ルーブリック、卒業時・卒業後・卒業生就職先アンケート>[カリキュラム、授業内容・方法]</p> <p>②定められた修業期間で卒業できたか<卒業率>[カリキュラム]</p> <p>③進路を決めて卒業できたか<就職率(進路決定率)>[授業内容・方法、就職支援]</p> <p>④学科に入って良かったか、大学の学びは役に立っているか<卒業時・卒業後アンケート>[カリキュラム、授業内容・方法]</p>

科目レベル		①学修目標は達成できたか<成績> [授業内容・方法] ②授業への出席はどのくらいか<出席率> [授業内容・方法] ③授業に意欲的に取り組んだか、予習・復習の時間は十分か<授業評価アンケート> [授業内容・方法] ④改善の必要な事項<授業評価アンケート> [授業内容・方法]	
-------	--	---	--